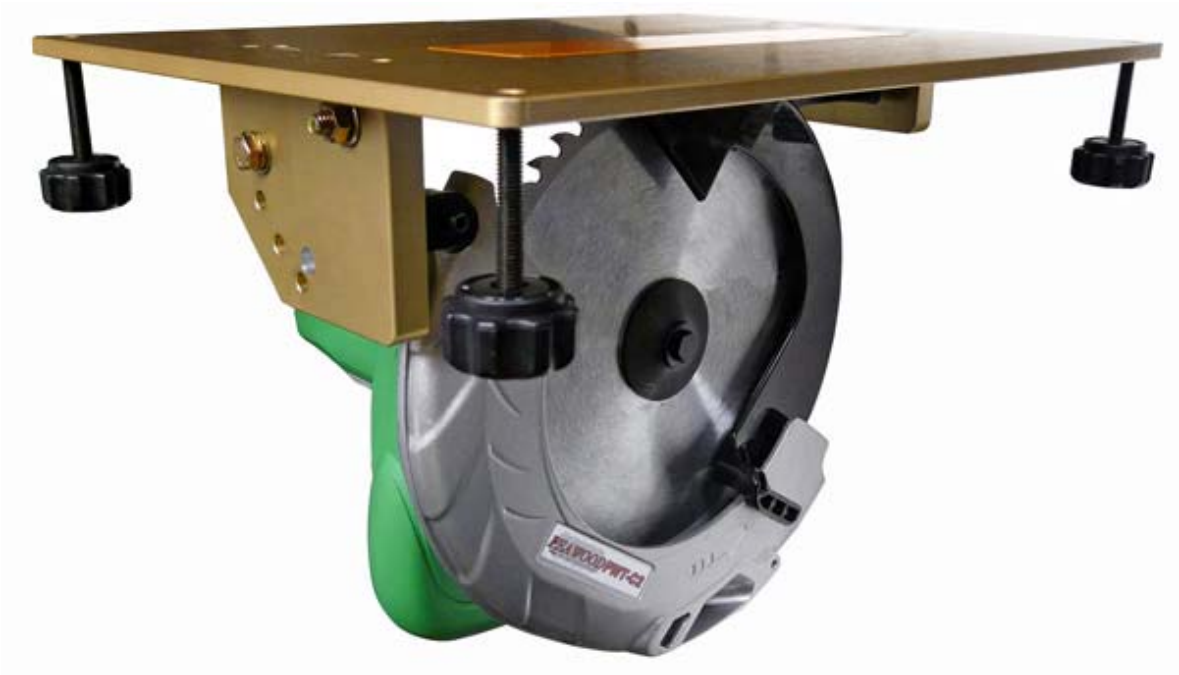
PEAWOOD

People who enjoy American woodwork



ピーウッド PWT-C2 プレートマルノコ

取扱説明書

【注意とお願い】

本製品は大変危険な装置です。高速で刃物が回転しますので作動中に機械の中に手を入れたり、覗き込んだりしないで下さい。怪我や失明の可能性があります。

安全の為キックバック防止用のスプレッター、ブレードガードは別売品をお買い求め頂くかお客様にて必ず作製し使用してください。

バリがあったり角が尖っている部品が含まれています。怪我しませんよう充分にご注意下さい。

本製品の使用により生じたいかなる損害などについて､弊社では一切その責任を追いかねますので､あらかじめご了承のほどよろしくお願い申し上げます。お客様の責任においてご使用下さい。

本製品は別途テーブル部の作製が必要です。精度良く組み立てるには、どうしても時間と努力が必要ですが、それも楽しみの一つとして考えていただければ幸いでございます。取扱説明書には、製作例を記載しております。

※改良の為製品仕様は予告無く変更になる場合があります。

安全上のご注意

JPA001-16

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

! 警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. **作業場の周囲状況も考慮してください。**
- 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. **感電に注意してください。**
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. **子供を近付けないでください。**
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近付けないでください。

5. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
- 乾燥した場所で､子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. **作業に合った電動工具を使用してください。**
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8. **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. **保護めがねを使用してください。**
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
・ コードを熱、油、角のある所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 使用しない、または修理する場合。
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

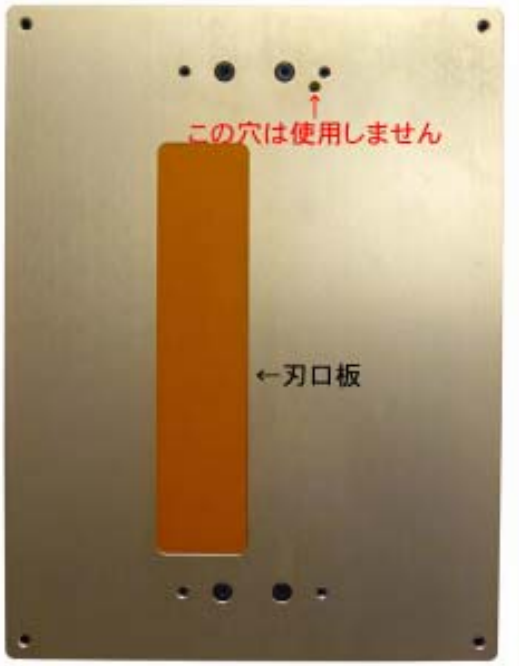
・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。
・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

【各部名称】



【用途】

◆木材、樹脂、薄物非鉄金属の切断

※鉄の切断は不可。

※切断砥石は使用できません。

※本製品は DIY 向け製品です。業務用途としての連続作業には適しておりません。

形式　PWT-C2（モーター部日立製 C7SS）

使用電源　単相 AC100V　50/60Hz

消費電力（入力）　1050W

回転数　5500 回 / 分

のこ刃寸法　外径 190㎜ ×内径 20㎜

使用できるのこ刃の外径　180㎜ ～ 190㎜

使用できるのこ刃の厚さ　最大 2.0㎜

最大切込深さ　0 度　64㎜　45 度　44㎜

傾斜　0 度 /45 度

本体寸法　長さ 330㎜ ×幅 280㎜ ×高さ 240㎜（プレート 330㎜ × 250㎜）

質量　4.2Kg

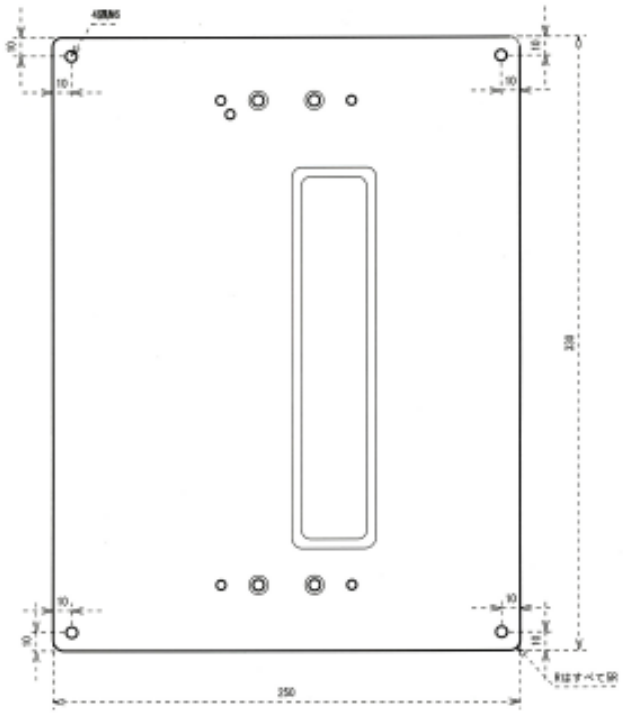
【標準付属品】

ボックススパナ×１本、刃口板×１枚、保護めがね、両面テープ、チップソー 190㎜ ×刃厚 2.0㎜ × 72P（木材用）※チップソー別売品は別途お買い求め下さい。

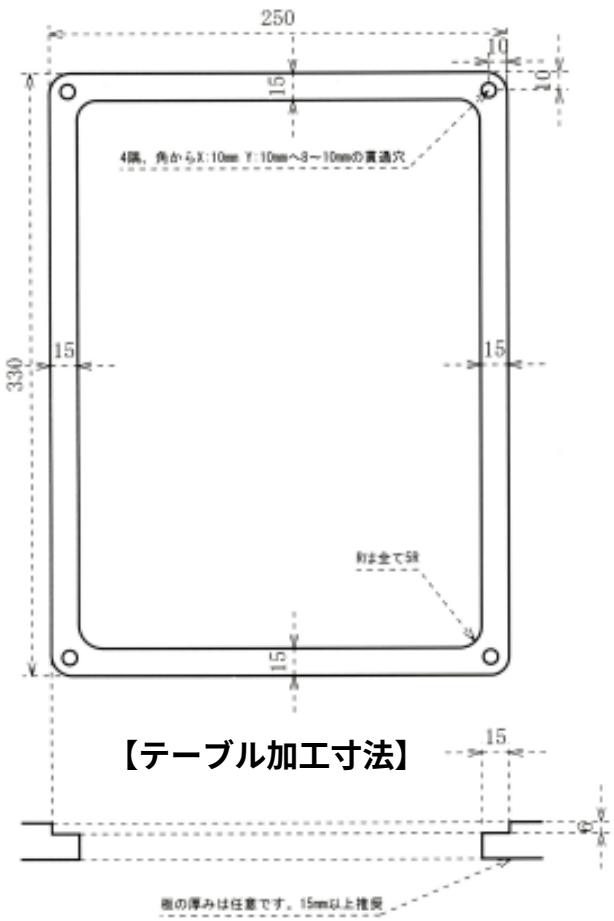
【テーブルの製作】

以下寸法図及び別紙製作参考例をご参照の上作業テーブル部を製作してください。

※寸法は全て㎜です。



【プレート寸法】

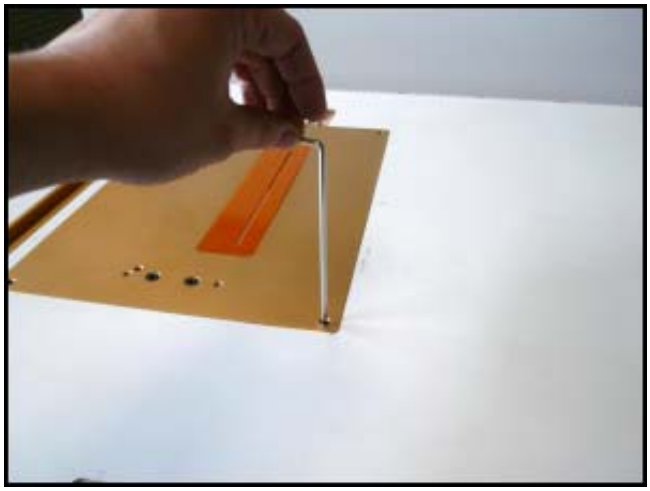


【テーブル加工寸法】

※ここからの説明における画像は旧タイプ PWT-C1 のままになっておりますが手順は同じですのでご理解の程お願い申し上げます。

【テーブルへセットする】

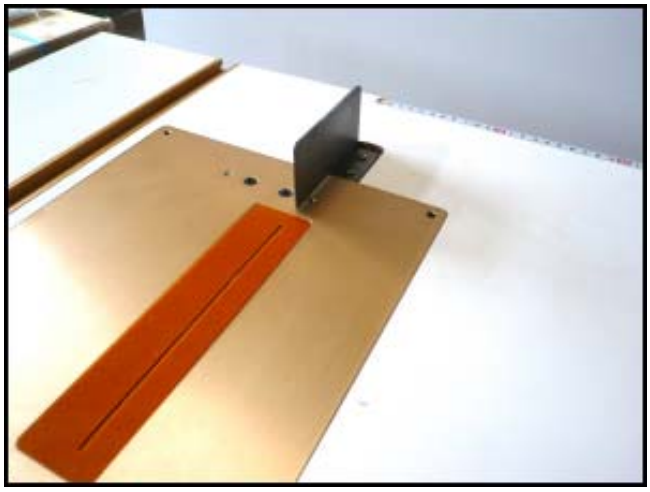
①プレート固定ノブ 4 個を取り外し製作したテーブルの取り付け穴へプレートマルノコの六角穴付きボルトを差し込む様にセットします。



②六角穴付きボルトを市販の 3㎜ 六角棒スパナでプレート表面よりも低い位置へ調整します。

※ナットロック接着剤で固定していますので、ずれた場合のみ調整してください。

③六角棒スパナを押えたままプレート固定ノブを締め付けます。この時六角穴付きボルトがプレート表面よりでないようにしっかりと押さえてください。



④キックバック予防のスプレッター（割刃）を取り付けます。

！警告

※スプレッター（割刃）はオプションです。
別売でお買い求め頂くか刃物と同じ厚みの金物でご自身にて作成してください。
フェンスを使用して作業する場合は必ず取り付けて使用してください。

【切断前の準備をする】

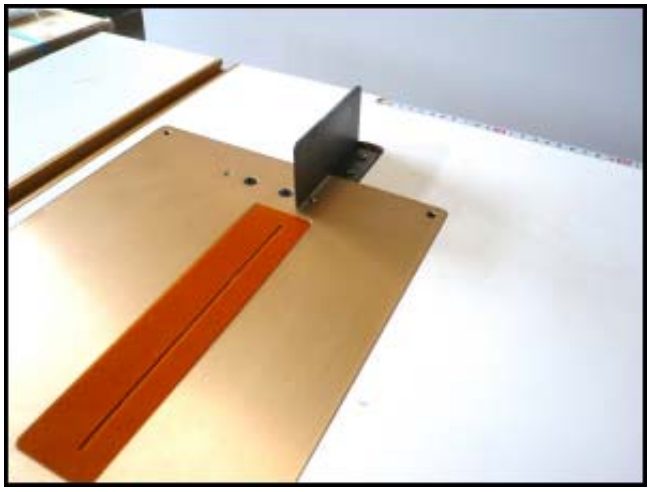
！警告

◆不意の動作による怪我の発生を防ぐ為切断前準備をする時は電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
◆電源コードや電源プラグが損傷している時は、直ちに使用を中止しお買い求めの販売店まで修理依頼をして下さい。

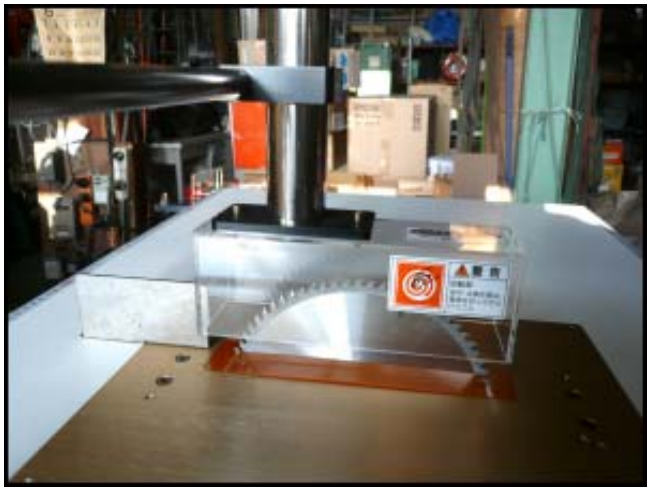
●使用電源を点検する
・単相 AC100V（50/60Hz）か？
・コンセント不良（ガタ）の為電源プラグが簡単に抜けないか？
・電源コードが断線したり、電源プラグが破損していないか？

●プレートマルノコのセット状態を点検する
・プレート固定ノブ 4 個がしっかりと固定されているか？
・刃口板が取り付けられているか？ひびや破損していないか？
・スプレッターが取り付けられているか？ひびや曲がり破損していないか？
・接触予防装置が取り付けられているか？ひびや曲がり破損していないか？

！警告



※スプレッター（割刃）はオプションです。
別売でお買い求め頂くか刃物と同じ厚みの金物でご自身にて製作してください。
フェンスを使用して作業する場合は必ず取り付けて使用してください。
スプレッターを取り付けずフェンスにて切断作業をすると取り付けてない状態に比べキックバックが発生する可能性が高くなり、怪我の元となります。



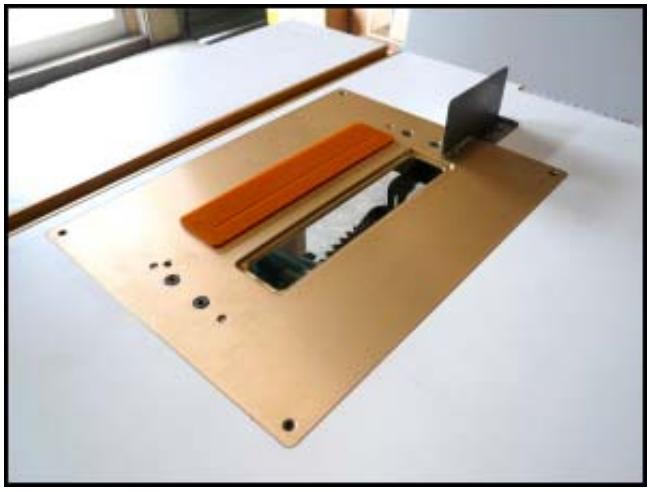
※接触予防装置はオプションです。
別売でお買い求め頂くかご自身にて製作してください。
接触予防装置を取り付けず切断作業をすると取り付けてない状態に比べ手や指が刃物に触れる可能性が高くなり、怪我の元となります。

【のこ刃を取り外す、取り付ける】

！注意

◆のこ刃の取り付け取り外しは付属の六角棒レンチを使用して作業を行って下さい。他の工具を使用すると、締めすぎや締め付け不足になり怪我の原因となります。

◆取り外し



①刃口板を裏から押して外します。両面テープで接着されている為外しづらい場合は裏から軽くたたいてください。

②スピンドル周辺の切り粉、ゴミを吹き飛ばします。切断深さ調整ネジを軽く緩め、のこ刃を一番下がった位置にし再度固定してください。

③スピンドルロックボタンを押しながら六角棒レンチで（標準付属品）のこ刃固定ボルトを回転方向（時計と逆周り）に回して緩めます。

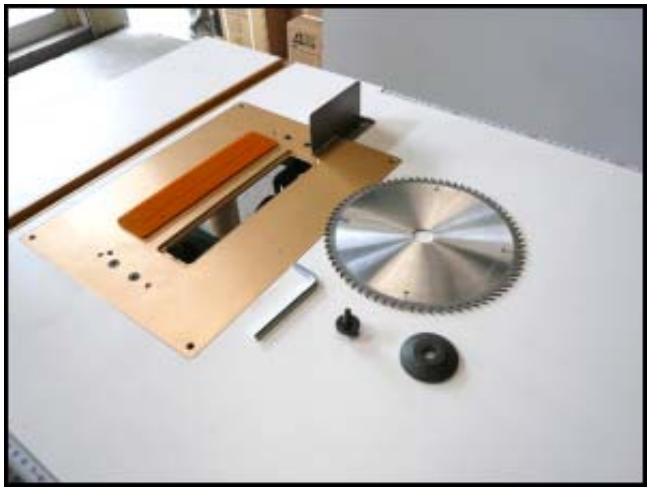
※スピンドルにはスピンドルロックボタンがかみ合う位置があります。スピンドルロックボタンを押しながら固定ボルトを回し、スピンドルがが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置ではスピンドルロックボタンが一段と深く押し込めます。

④スピンドルから固定ボルト、外フランジを取り外します。

⑤保護カバーのツマミを一杯まで引き上げた状態で保持しのこ刃を上へ引き抜きます。

！注意

※のこ刃を引き抜くときは刃先で怪我をしないように充分注意してください。



⑥各部品をよく清掃してください。

【のこ刃の取り付け】

①保護カバーのツマミを一杯まで引き上げた状態で保持します。

②のこ刃をスピンドルに取り付けます。
※のこ刃に刻印された矢印がソーカバーの矢印と同じ向きになるようにのこ刃を取り付けてください。

③保護カバーのツマミを離します。

④外フランジの凹部をのこ刃側に向けてスピンドルにはめ込み固定ボルトを差し込みます。

⑤スピンドルロックボタンを押しながら六角棒レンチで固定ボルトを回して締めます。
※スピンドルがロックされていないと固定ボルトを締め付けることは出来ません。

⑥スピンドルロックボタンを離します。

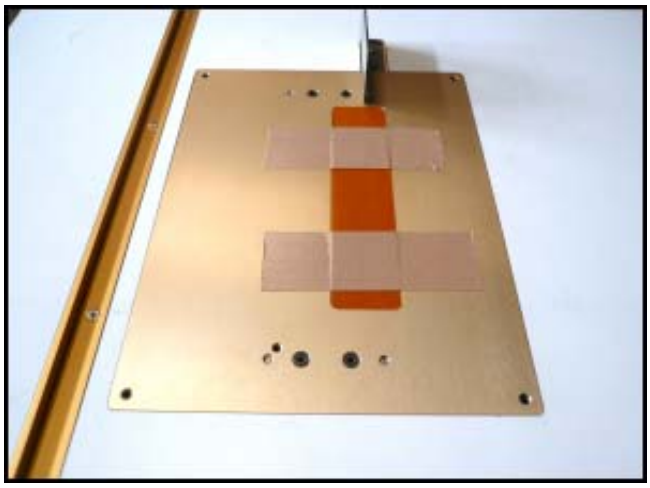
⑦刃口装着部をきれいに清掃し刃口板を取り付けます。両面テープが付かない場合は付属のテープで張り替えてください。

【切断高さを設定する】

！警告

◆不意の動作による怪我の発生を防ぐ為切断前準備をする時は電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
◆電源コードや電源プラグが損傷している時は、直ちに使用を中止しお買い求めの販売店まで修理依頼をして下さい。

◆刃口板に切込口を作る（初めて使用する時及び刃口板を交換した際の作業です）



①切込時の飛散防止の為図のようにテープを張って下さい。

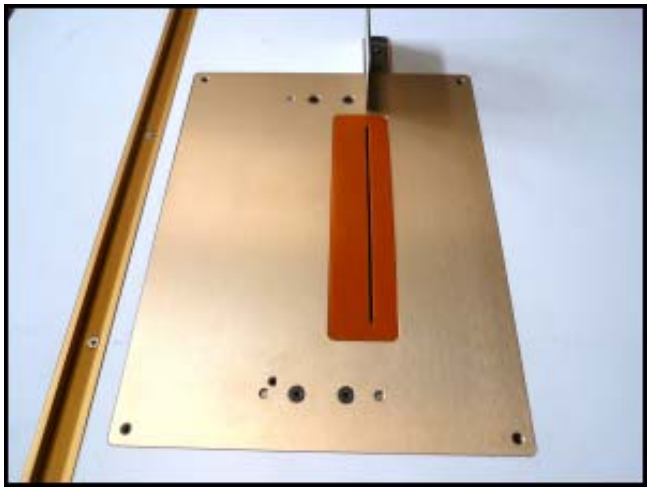
②切断深さ調整ネジを軽く緩め、のこ刃を一番下がった位置である事を確認してください。

③電源プラグをコンセントに差し込みメインスイッチをオンにしその状態のまま ON 保持ボタンを左右のどちらかに押し込みます。この状態で回転したままの状態で固定されます。

④付属の保護めがねを装着して下さい。
回転させた状態で片手で保護カバーのツマミを一杯まで引き上げ保持します。もう片方の手でハンドル握りのこ刃を上へゆっくりと押し上げ刃口板に切込みを入れていきます。

！警告

※刃物が回転した状態ですので刃先で怪我をしないように充分注意して作業してください。

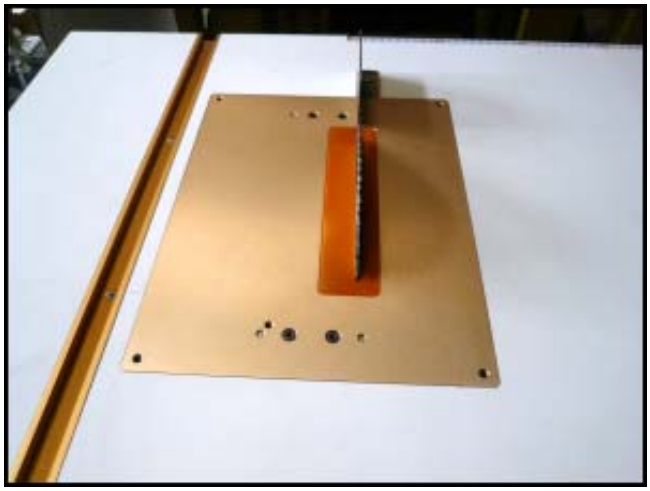


⑤本体がプレートへあたり一番高い位置まで切り込みが完了したらゆっくりと降ろし保持している保護カバーのツマミから手を離しメインスイッチをもう一度押すとON保持ボタンが解除されスイッチが切れます。
切込調整ツマミを締め、電源プラグを外し各部を清掃してください。

【切断深さを調整する】

①切断深さ調整レバーを緩めます。

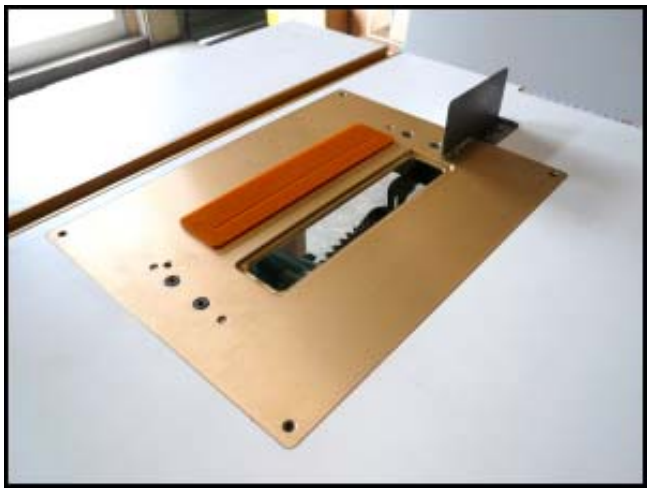
②保護カバーのツマミを一杯まで引き上げ保持します。もう片方の手でハンドル握りのこ刃を上へゆっくりと刃口板の切れ込みにのこ刃が入るように押し上げていき最適な高さまで押し上げます。



③深さ調整ボルトを固定し、保護カバーのツマミをゆっくりと離してください。

※最適な切断をする為には、のこ刃の刃先から材料下面から 3㎜ 以上はみださないようにしてください。

【垂直角度（90 度）を設定する※出荷時は調整済み】

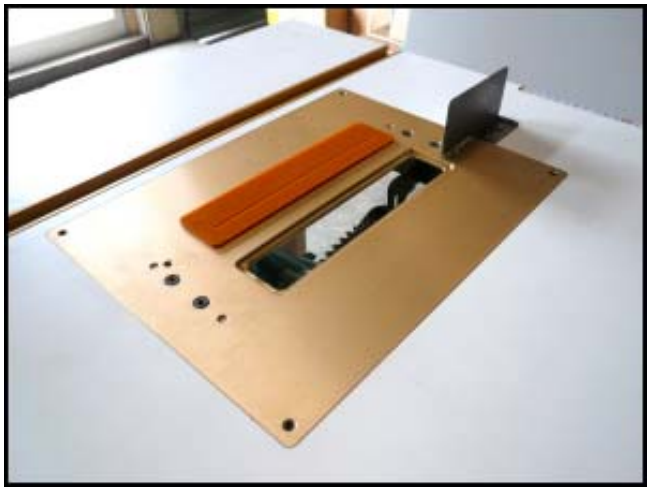


①刃口板を裏から押して外します。両面テープで接着されている為外しづらい場合は裏から軽くたたいてください。
角度固定ボルト市販の 10㎜ のスパナで緩め、
本体固定ボルト 2 箇所を市販の 10㎜ のスパナ 2 本で軽く緩めてください。

② 90 度を測定できるスコヤ等をご用意下さい。
（WIXY WR400/410 デジタルプロトラクター推奨）
切込深さ調整ネジを軽く緩め、のこ刃を上げてください。
この時最大の高さではなく若干低めの位置で切込深さ調整ネジを固定します。
測定具に合わせ 90 度の位置を出します。

③ 90 度の位置が決まったら角度固定ボルトから締めてください。動かないように本体固定ボルトもスパナでゆっくりと締めてください。

【トメ切角度（45 度）を設定する】



①刃口板を外します。両面テープで接着されている為外しづらい場合は裏から軽くたたいてください。同時にスプレッターも外してください。

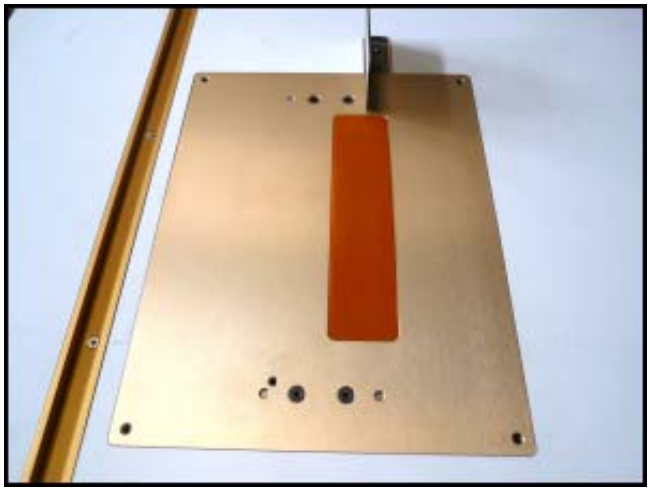
②本体固定ボルト 2 箇所（1 箇所は反対側になります）を市販の 10㎜ のスパナ 2 本で軽く緩めてください。角度固定ボルトは一旦取り外します。

③ 45 度を測定できるスコヤ等をご用意下さい。（WIXY WR400/410 デジタルプロトラクター推奨）切込深さ調整ネジを軽く緩め、保護カバーのツマミを一杯まで引き上げ保持し、のこ刃を上げてください。最大の高さで切込深さ調整ネジを固定します。本体を傾斜させ角度固定ツマミナット、蝶ボルトを角度傾斜ボルト穴の一番下へセットしてください。測定具に合わせ 45 度の位置を出します。

④ 45 度の位置が決まったら角度固定ボルトから締めてください。動かないように本体固定ボルトもスパナでゆっくりと締めてください。

刃口装着部をきれいに清掃し刃口板を取り付けます。両面テープが付かない場合は付属のテープで張り替えてください。

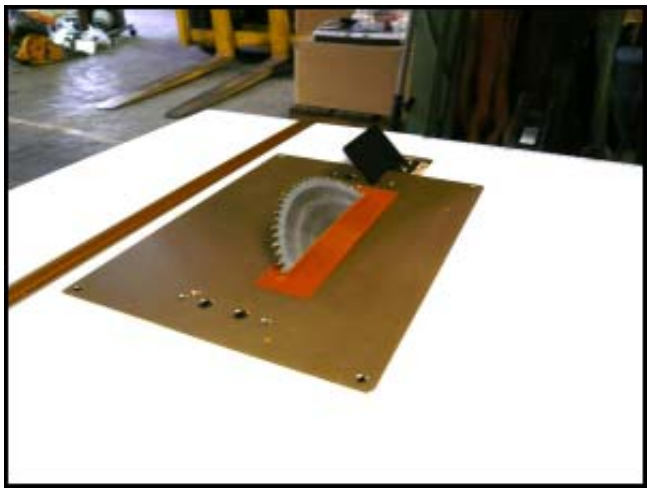
【トメ切角度（45 度）を設定する】



⑤初めて傾斜角度設定する場合は刃口板に切り込みを入れる為、深さ調整ボルトを緩めのこ刃を一番下がった位置へ戻します。
P7 と同じ手順で刃口に切り込みを入れてください。
※刃口板は 90 度とは別の物をご用意下さい。

！注意

刃口板の切り込んだ部分は鋭角になっておりますので不用意に触ると手を怪我しますので充分に注意してください。



⑥トメ切角度（45 度）用のスプレッターを取り付けます。
※直角の位置とは刃口板からのこ刃の出る位置が違う為テーブル製作例を参考に加工してください。

！警告

※スプレッター（割刃）はオプションです。
別売でお買い求め頂くか刃物と同じ厚みの金物でご自身にて製作してください。
フェンスを使用して作業する場合は必ず取り付けて使用してください。
スプレッターを取り付けずフェンスにて切断作業をすると取り付けてない状態に比べキックバックが発生する可能性が高くなり、怪我の元となります。

※プレートマルノコには任意に角度設定が出来るように数箇所角度設定用ボルト穴が開いておりますが、オプションのスプレッターは 90 度、45 度の 2 種類しか用意しておりません。
90 度、45 度以外の角度で作業する場合はその角度にあったスプレッターを作製してご利用下さい。

【切断する】

！警告

◆不意の動作による怪我の発生を防ぐ為メインスイッチがON状態で保持されていない事を確認してから電源プラグを電源コンセントへ差し込んでください。
◆プレートマルノコがテーブルへしっかりと固定されている事を確認してください。
◆ご使用前にブレーキがかかる事を確認してください。万一正常に動作しない場合は使用を中止してお買い求めの販売店または当社あてまで修理を依頼して下さい。
◆手がのこ刃接近する場合は、必ずプッシュスティク（押し棒）などジグを使用してください。
◆使用中は材料を保持しこじれない様に切断してください。材料がこじられると強い反発力が生じ怪我の原因となります。
◆切断途中でのこ刃を回転させたまま材料を戻さないで下さい。のこ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力を生じ怪我の原因となります。
◆フェンス等を利用しないフリーでの切断をしないで下さい。材料がこじられ強い反発力が生じ怪我の原因となります。

！注意

◆のこ刃の切断中は切断片を取り除かないで下さい。のこ刃に巻き込まれ怪我の原因となります。
◆材料を押す手をのこ刃の延長線上に置かないで下さい。特にのこ刃を傾斜させた場合は注意してください。
◆フェンスは確実に固定してください。固定が不十分な場合材料がこじれて怪我の原因になります。
◆使用中は材料をこじたり浮かしたりしないで下さい。材料が反発する事があり怪我の原因となります。
◆小さな材料、幅の狭い材料を加工するときは必ず押し具を使って作業してください。刃物に手が触れ怪我の原因となります。

①のこ刃、保護カバー・刃口板・接触予防装置を点検する。
・のこ刃がしっかりと取り付けられているか？
・のこ刃が曲がったり刃先が欠けたりしていないか？
・のこ刃が摩耗していないか？
・切り粉がたまっていなく保護カバーがスムーズに動くか？
・刃口板が取り付けられているか？刃損、摩耗していないか？
・接触予防装置が取り付けられているか？刃損していないか、最適な位置へセットされているか？

②材料にあわせ切断高さをあわせる。
・切断深さが正しく調整されているか確認してください。最適な切断をする為にはのこ刃が材料から3㎜以上はみださないようにしてください。

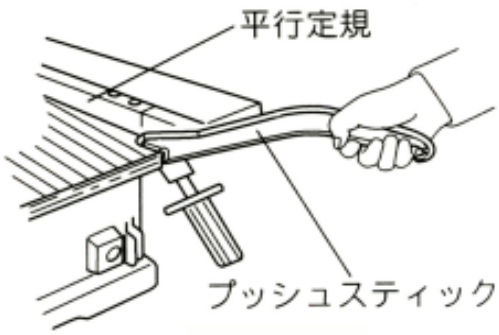
③電源プラグを電源コンセントに差し込む。

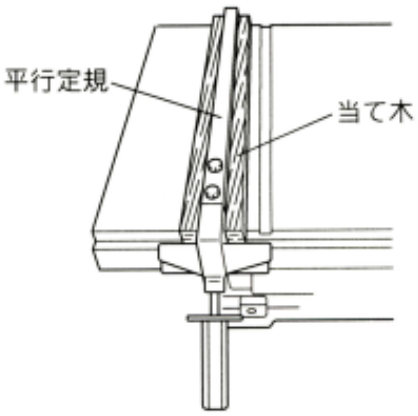
④メインスイッチをオンにしその状態のまま ON 保持ボタンを左右のどちらかに押し込みます。
この状態で回転したままの状態で固定されます。

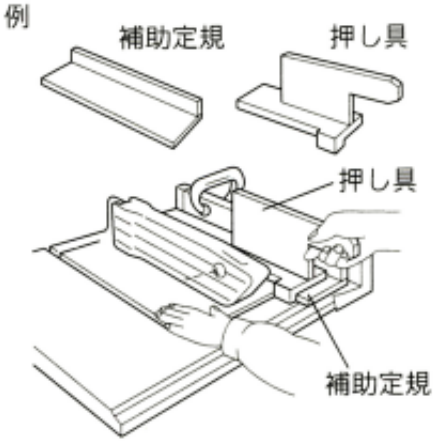
⑤材料をしっかりと保持しのこ刃の回転が完全に上昇し安定したら材料をフェンスに沿わせ静かに前へ送材し切り終るまでこの状態を保ちます。特に固い材料を切断する場合は、できるだけゆっくり送材してください。切断面をきれいにするには一定の速さで真っ直ぐ材料を進めてください。

! 警告

◆手がのこ刃接近する場合は必ずプッシュスティック（押し棒）を使用してください。
◆のこ刃とフェンスが接近する場合はフェンス側面に当て木をしてください。当て木は木板、プラスチック板を使用しボルト､ナットまたは接着剤等で剥がれないようにしっかりと取り付けてください。
◆のこ刃と抵抗定規の間が狭くプッシュスティックが接触予防装置にあたって使えない時は下図に示すような補助冶具等を用いて作製してください。







補助具の使い方

・補助定規を平行定規に C クランプなどでしっかりと固定してください。
・材料を補助定規に沿わせゆっくりと切断し、手がのこ刃に接近したら押し具を使用してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「メインスイッチ①」を引き込んでも、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない 電源コードが断線している	電源プラグを電源コンセントに差し込む 修理を依頼する
作動したまま、止まらない	「メインスイッチ①」がいっぱいまで引き込まれた（ON保持）状態になっている	「メインスイッチ①」をさらに引き込んで指を離し、ON保持状態を解除する
切断に時間がかかる（切断できない）	のこ刃が摩耗している 使用電源の電圧が低い	のこ刃を交換する 100Vの電源を使う

◆「故障かな？と思ったら」を読んでもご不明な点がある時はお買い上げの販売店または当社宛までお尋ね下さい。
◆修理を依頼されるときはお買い求めの販売店または下記当社宛までご相談下さい。

電動工具・木工機械の専門店 /P-TOOLS.COM　株式会社 ピーツールズ
〒272-0802　千葉県市川市柏井町 4-374-3
e-mail：info@p-tools.com
TEL：047-303-6231
FAX：047-303-6232
店舗営業時間：9：00 ～ 18：00　休業日：日曜祝祭日・当社指定日

お手入れと保管

⚠警告

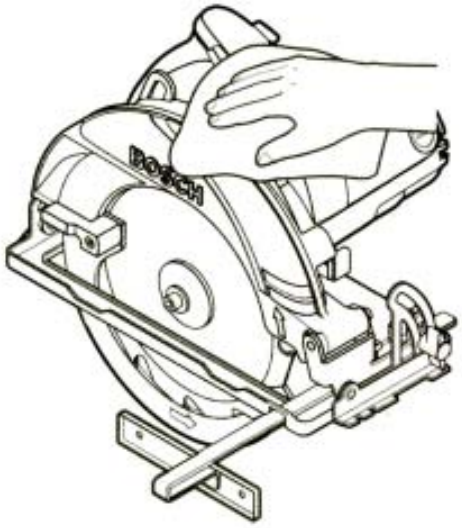
◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、お手入れをしてください。

クリーニング

通風口や保護カバーなどの切り粉、ホコリを取り除く

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保　管

丸のこを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

販売元　株式会社ピーツールズ
272-0802
千葉県市川市柏井町 4-374-3
047-303-6231